



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

▲注意 …取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 突出し窓本体設置後、ピボット、フリクションステーがゆるみ・ガタツキなく固定され、本体が外れないか確認してください。本体脱落の原因につながります。
- FIX窓本体設置後、後付カバーがゆるみ・ガタツキなく固定され、本体・後付カバーが外れないか確認してください。本体脱落の原因につながります。
- 当商品は屋内専用です。水や風の通過を防ぐ機能はありませんので、屋外では使用しないでください。
- 異なる段数・ピッチ同士を連結することは絶対にしないでください。思わぬケガや事故につながります。
- 突出し窓本体の下端は床から1100mm以上の高さに施工してください。ケガにつながる可能性があります。
- 枠の取付け後、上下枠のプッシュボタンを必ず取付けてください。ケガにつながる可能性があります。

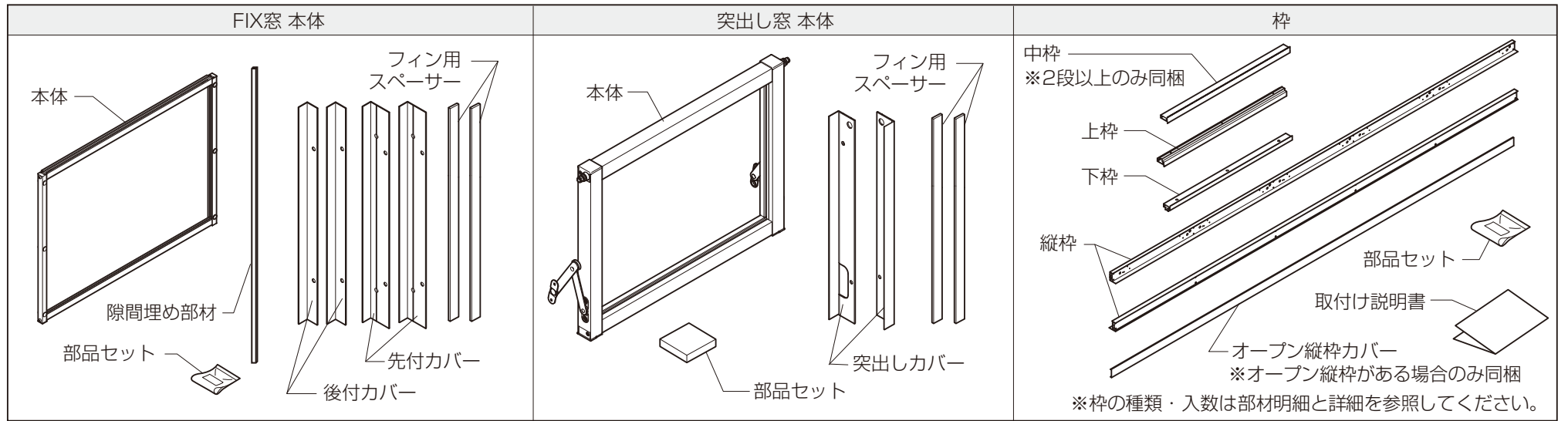
■取付け上のお願い

- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 運搬・加工の際は、傷つかないように取扱ってください。また、水・直射日光の当たる場所に、開梱状態で置かないでください。ソリ・ねじれの原因になります。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさ・胴縁との間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- かい木は柱・まぐさと同じ幅のものを使用してください。
- 造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、合板などの乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」またはノンホルムタイプを使用してください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- ねじ保持力が弱い場合、軽量鉄骨には直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。必要であれば、木枠と軽量鉄骨の間に補強材を入れ、十分な強度を確保してください。
- 4段・5段の下枠を固定する床(下地)は、段差やすき間がないように仕上げしてから固定してください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用して、締付けトルク1.5～2.0N・mにて行ってください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 枠組立ては、部材が擦れてキズがつかないように、底面にゴミがない場所で行ってください。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 枠は倒れ、傾き、タイコ、ツツミ、ねじれがないように取付けてください。
- 連結した枠同士の面をそろえて取付けてください。
- フィン用スペーサーは、貼付け面のホコリ・汚れ・油分などを取り除いてから貼付けてください。
- FIX窓のガラスの向きを合わせて取付けてください。
- 隙間埋め部材は、貼付け面のホコリ・汚れ・油分などを取り除いてから貼付けてください。
- フリクションステーに潤滑剤や洗剤を塗布しないでください。トルクがなくなり、任意位置での固定ができなくなります。
- クリアバンポンは、貼付け面のホコリ・汚れ・油分などを取り除いてから貼付けてください。
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 製品取付けの際の建具養生時に本製品にテープ(ガムテープ、養生テープ、マスキングテープなど)を直貼りしないでください。テープをはがす際、製品を痛めたり、テープの粘着剤が付着したまま残ることがあります。
- クロスと枠の間は、コーキング等を使用して仕上げてください。

■本体保管上のお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所・昼夜などで温度差の激しい場所・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細



■納まりごとの枠セット 数量明細

納まり	枠名称	数量			
		両側壁	連結 - 壁	両側連結	オープン - 壁
両側壁	1列	1			
	2列		2		
	3列		2	1	
片側オープン	1列				1
	2列		1		1
	3列		1	1	1

■枠セット内の縦枠明細

名称	クローズ縦枠	連結縦枠	オープン縦枠	オープン縦枠カバー
	縦枠呼称	両側壁	連結-壁	両側連結
	2	1	2	1
			オープン-連結	1
		1		1

■枠セット 明細

部品名称	縦枠・縦枠カバー	上枠	下枠	床設置用下枠	中枠	部品セット	取付け説明書
		1段	1	1			
2段	1	1		1	2	1	1
3段	1			1	3	1	1
4段	1			1	4	1	1
5段	1			1		1	1

■FIX窓のみの場合の本体数量明細

列数	1	2	3
1	1	2	3
2	2	4	6
3	3	6	9
4	4	8	12
5	5	10	15

■突出し窓がある場合の本体数量明細

列数	1		2		3	
	FIX	突出し	FIX	突出し	FIX	突出し
1	0		0		0	
2	1	1	2	2	3	3
3	2		4		6	
4	3		6		9	
5	4		8		12	

■枠 部品セット明細

部品名称	段数				
	1段	2段	3段	4段	5段
枠組立て用なべタッピンねじ φ4×35 ガイド付	10	14	18	22	26
枠取付け用バインドタッピンねじ φ4×40	10	14	18	22	26
縦枠連結用なべタッピンねじ φ4×15	3	5	6	8	10
プッシュボタン	6	6	6	6	6

■突出し窓 部品セット明細

部品名称	入数
突出しカバー固定用皿小ねじ M4×8 (製品色)	2
軸受部品	2
フリクションステー用スペーサー	2
枠側フリクションステー固定用皿小ねじ M4×8	4
ワッシャー	2
ワッシャー取付けねじ(薄平小ねじM4×10)	2
把手セット(皿小ねじM4×14(製品色)付)	1
クリアバンポン	2

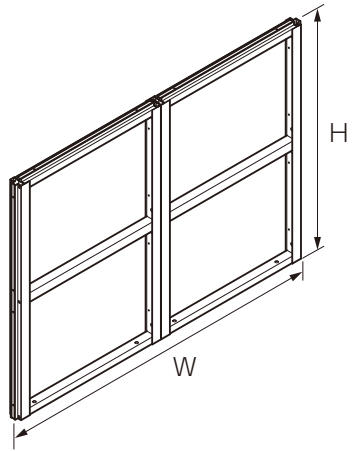
■FIX窓 部品セット明細

部品名称	入数
先付カバー固定用皿小ねじ M4×8	8
後付カバー固定用トラス小ねじ M4×10(製品色)	8

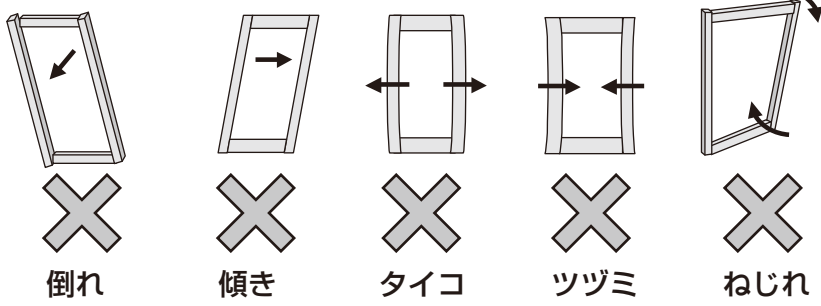
開口部の作り方

- ①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

●製品寸法

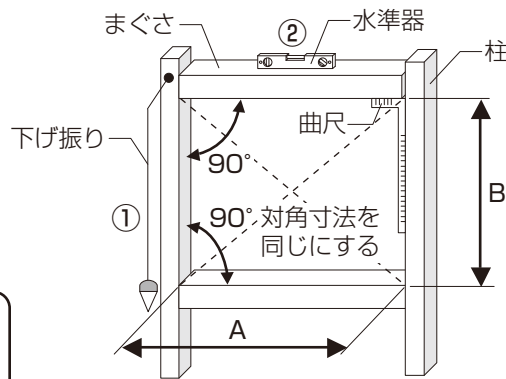


※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。



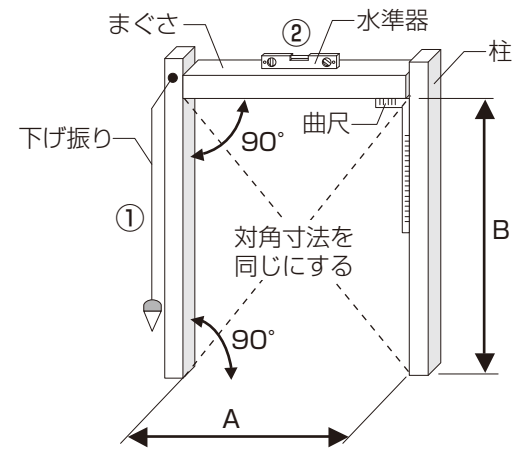
●開口寸法

【1～3段】



開口寸法A	製品寸法+10mm
開口寸法B	製品寸法+10mm

【4～5段】

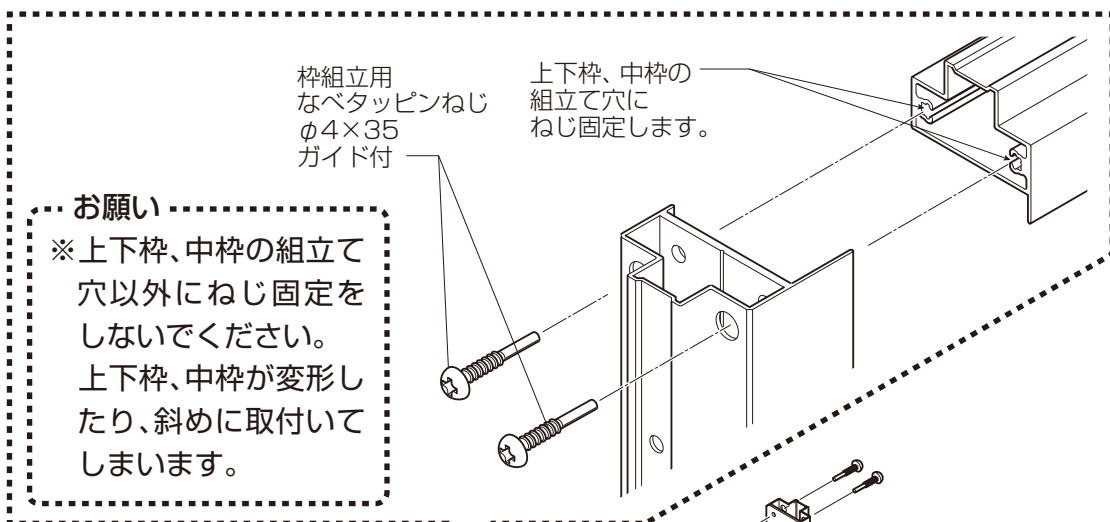


開口寸法A	製品寸法+10mm
開口寸法B	製品寸法+5mm

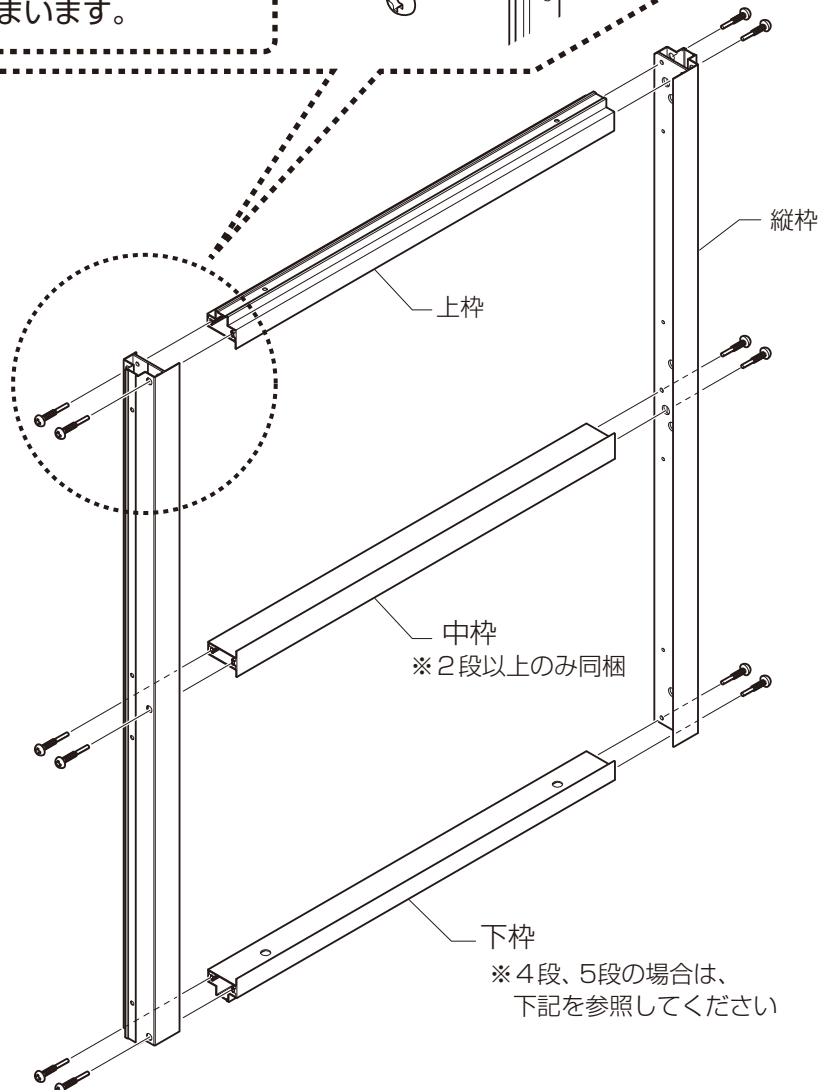
枠の取付け順序

1 枠の組立て

- 下図のように、各部材を組み合わせ、同梱のなべタッピンねじ $\phi 4 \times 35$ ガイド付で固定します。
- ※中枠は、2段以上の場合に同梱されています。



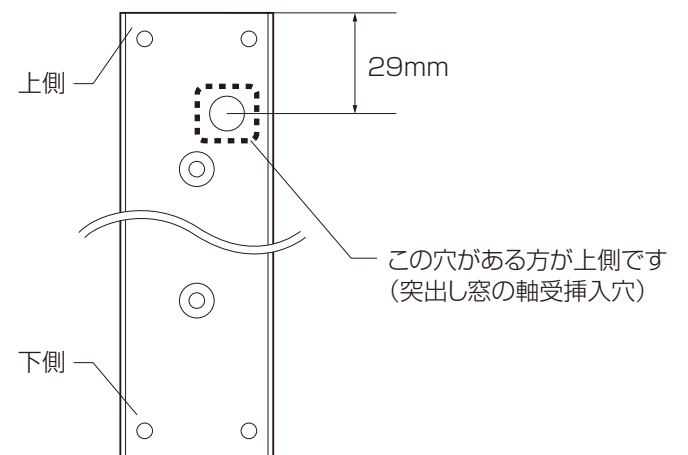
お願い
※上下枠、中枠の組立て穴以外にねじ固定をしないでください。上下枠、中枠が変形したり、斜めに取付いてしまいます。



縦枠には上下があります。

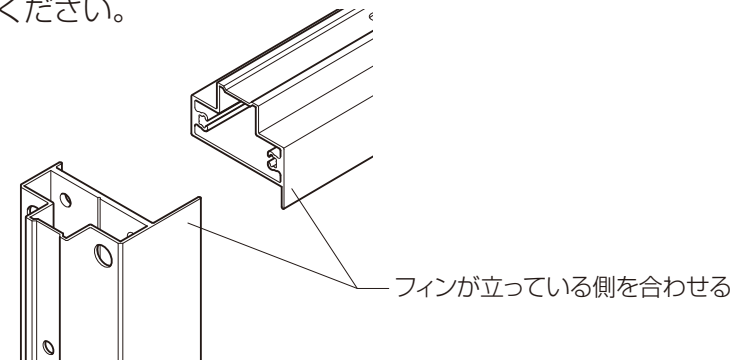
下の絵を参照し、左右の縦枠で上下の向きを揃えて、組立してください。

※下図はフィンの立っている側から見て左縦枠です。右縦枠は加工が左右対称です。



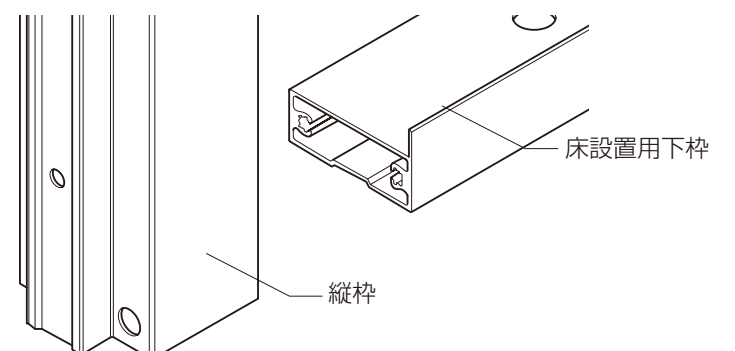
枠部材には前後があります。

下の絵を参照し、フィンが立っている向きを合わせて組立してください。



【4～5段の場合】

- 4～5段は、上枠と下枠の形状が異なります。下側に床設置用下枠が来るように組立ててください。

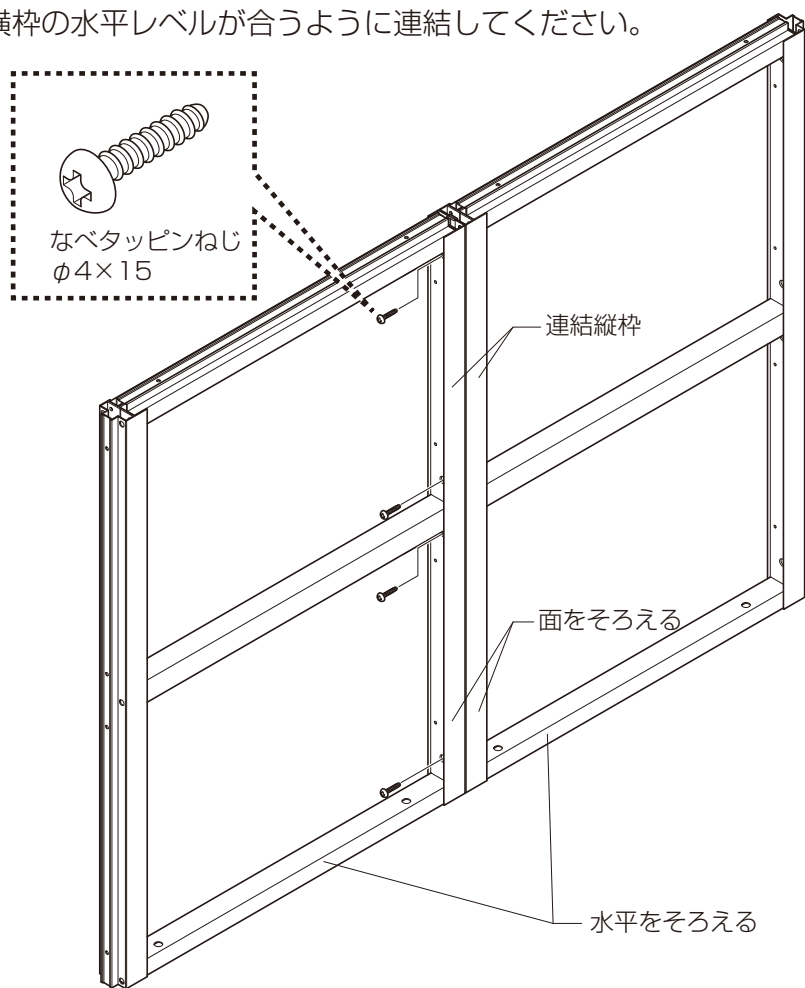


2 (2列以上の場合) 枠の連結

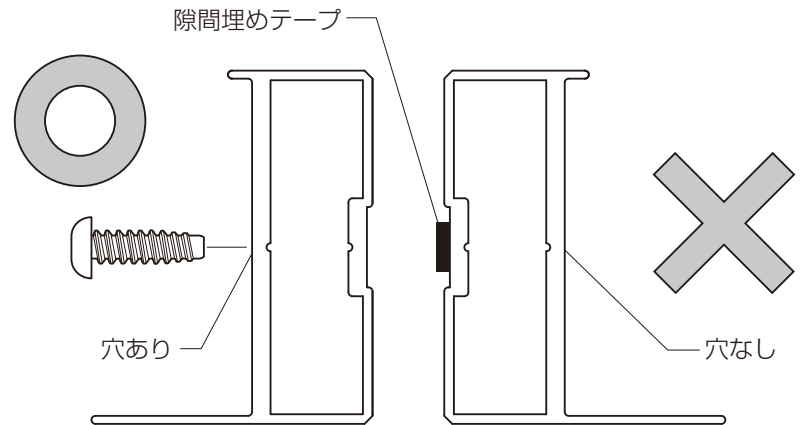
下図のように、連結縦枠全面を合わせ、同梱のなベタツピンねじ $\phi 4 \times 15$ で枠同士を連結します。

※縦枠の面が合うように連結してください。

※横枠の水平レベルが合うように連結してください。



連結縦枠に隙間埋め用のテープが貼られていない側のみ、連結ねじを差込む穴があいています。



■連結ねじ固定数

列数 \ 段数	2	3
1	2	4
2	4	8
3	6	12
4	8	16
5	10	20

3 枠の取付け

●両側壁納まりの場合、枠が左右兼用のため、お施主様に確認の上、A部詳細図のフィンの有無で枠の向き(枠の内外)を決めてください。

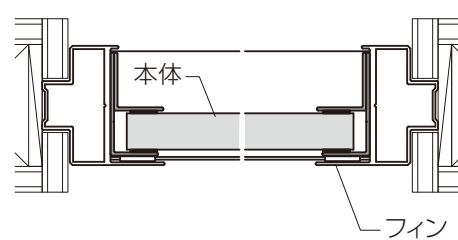
【突出し窓が含まれる場合】

フィン側に操作用の把手が付き、フィンと逆側に本体が突き出されます。(フィン側を居室側にする、居室側から本体を開閉出来ます。)

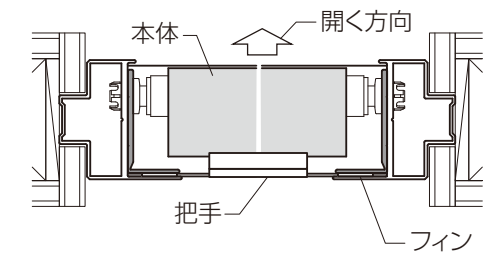
【FIX窓のみの場合】

フィン側に本体が片寄せされます。(フィン側を居室側にする、居室側が枠と本体の形材に段差が少なく納まります。)

【FIX窓】



【突出し窓】



●枠を同梱のバインドツピンねじ $\phi 4 \times 40$ で取付けます。

※かい木はまぐさ・柱と同じ幅のものを使用してください。

【1～3段の場合】

上枠・下枠とまぐさ、縦枠と柱のすき間にかい木を入れてすき間を調整してください。

※下げ振り、水準器を使用し、水平・垂直・対角を出し、枠を固定してください。

【4～5段の場合】

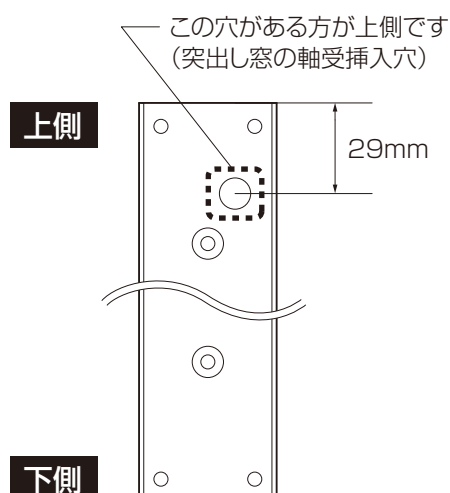
上枠とまぐさ、縦枠と柱のすき間にかい木を入れてすき間を調整してください。

※下げ振り、水準器を使用し、水平・垂直・対角を出し、枠を固定してください。

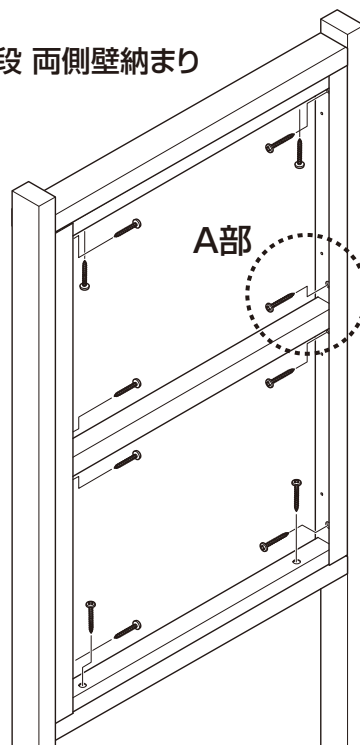
■枠取付ねじ固定数

列数 \ 段数	両側壁納まり			片側オープン納まり		
	1	2	3	1	2	3
1	8	12	16	6	10	14
2	12	16	20	8	12	16
3	16	20	24	10	14	18
4	22	28	34	14	20	26
5	26	32	38	16	22	28

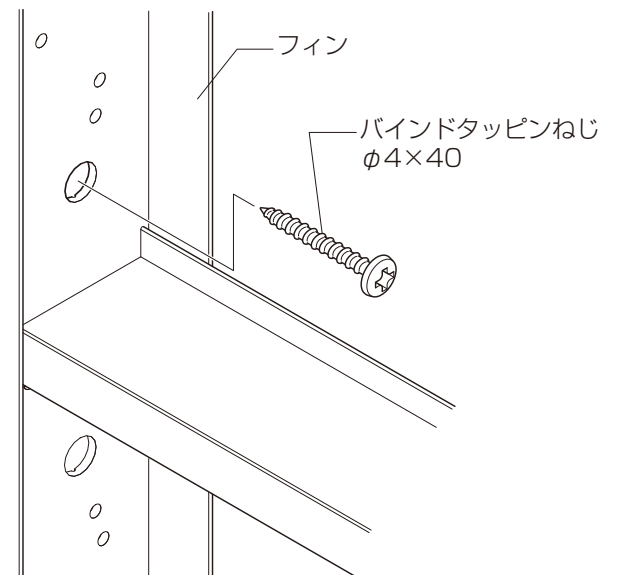
枠には上下があります。下の図を参照し、枠の上下の向きを合わせて取付してください。



【例】1列2段 両側壁納まり

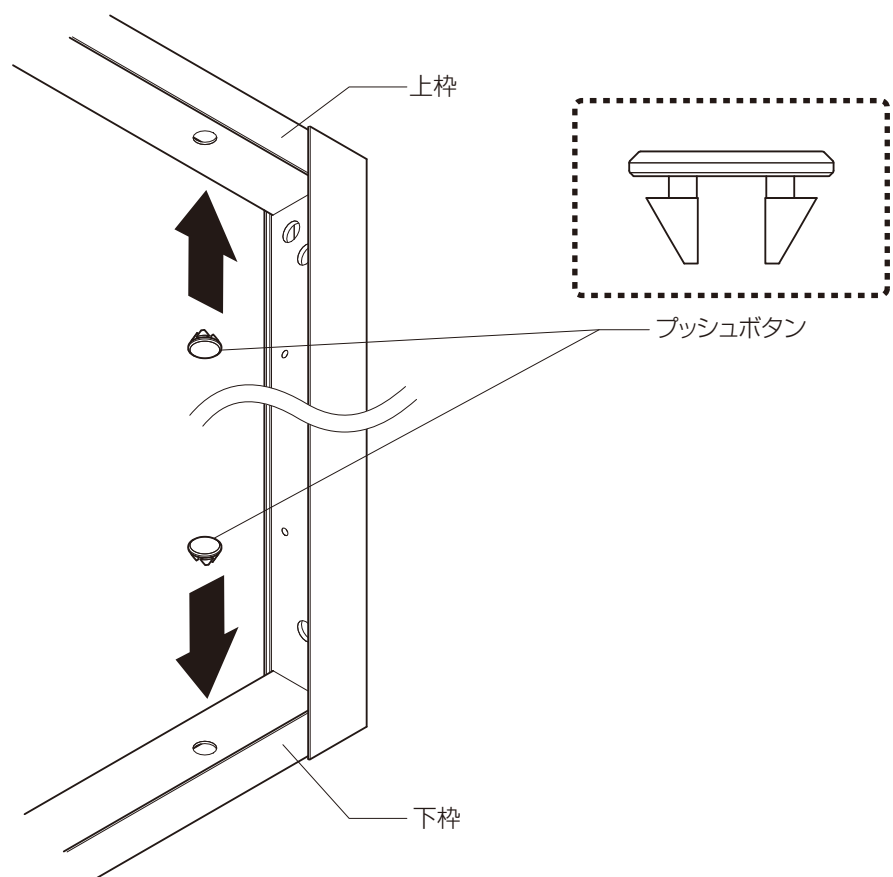


■A部詳細図



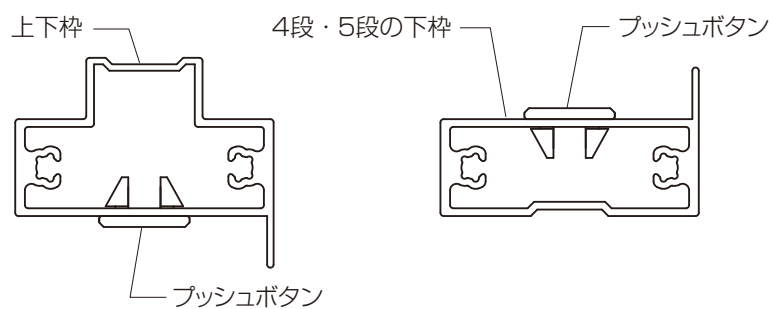
4 プッシュボタンの取付け

上枠、下枠の枠取付ねじ挿入穴に、プッシュボタンを取付けます。
 ※プッシュボタンが外れないように、奥までしっかり差込んでください。



■取付け後の状態

奥までしっかり差込んでください。

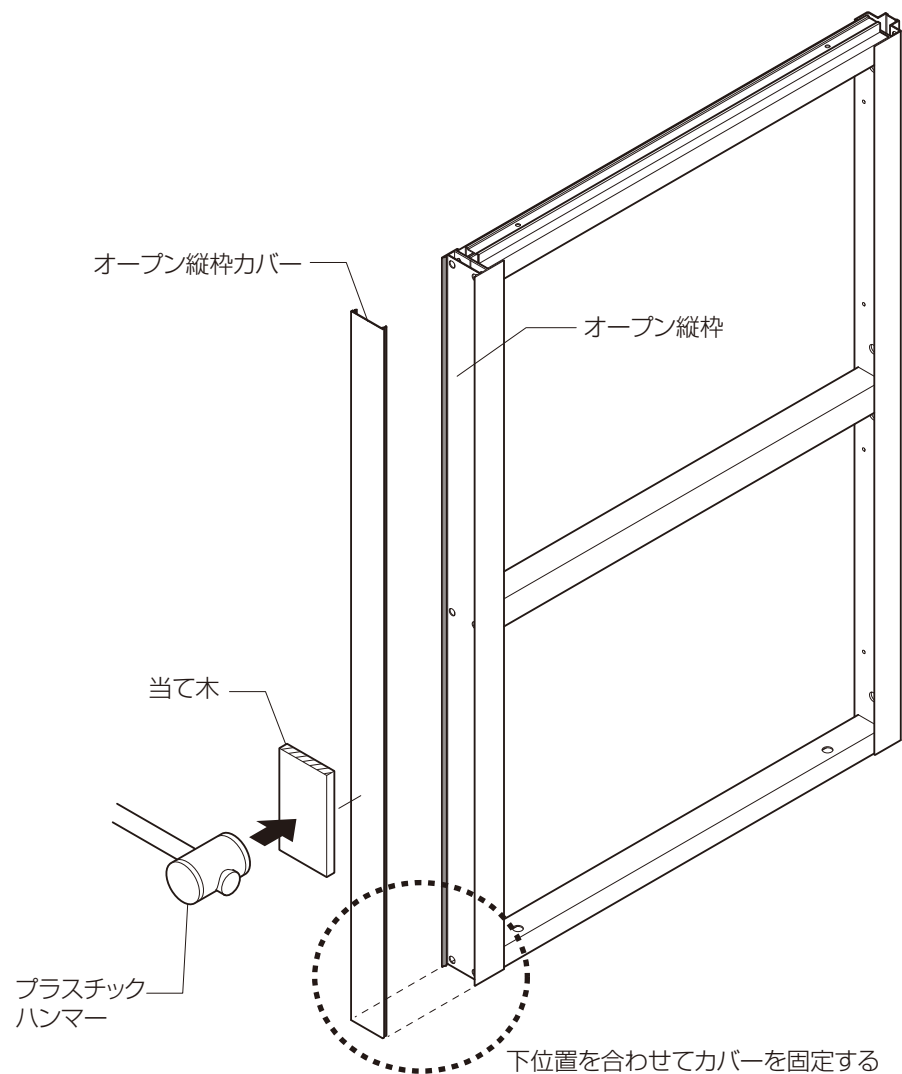


■プッシュボタン取付数

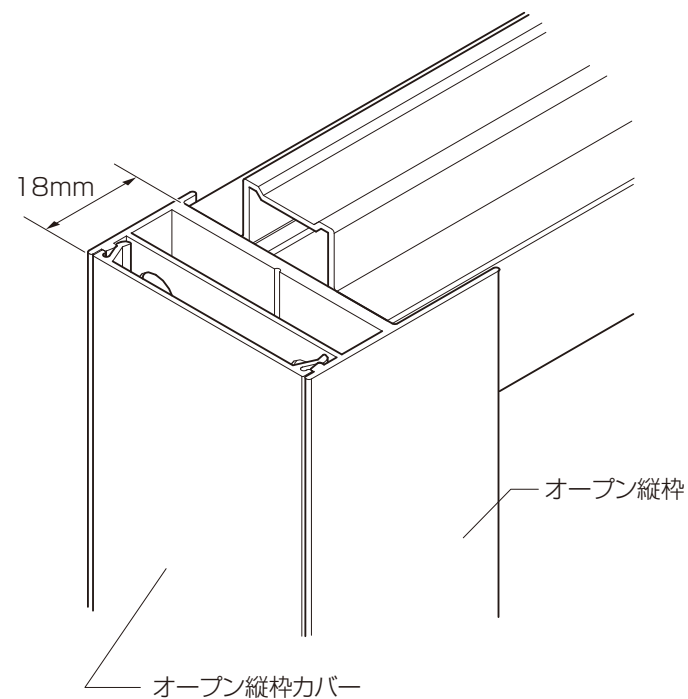
列数 段数	1	2	3
1	4	8	12
2	4	8	12
3	4	8	12
4	6	12	18
5	6	12	18

5 (片側オープン納まり場合)オープン縦枠カバーの取付け

ハンマーなどを使用し、オープン縦枠にオープン縦枠カバーを取付けます。
 ※必ず当て木をしてから、オープン縦枠カバーを取付けてください。カバーが変形・キズが付く恐れがあります。
 ※オープン縦枠カバーは、縦枠と下位置が合うように固定してください。
 ※オープン縦枠カバーを取付ける際、床を傷つけないように取付けてください。



【オープン側上部 取付け後の状態】



■壁面の仕上げ

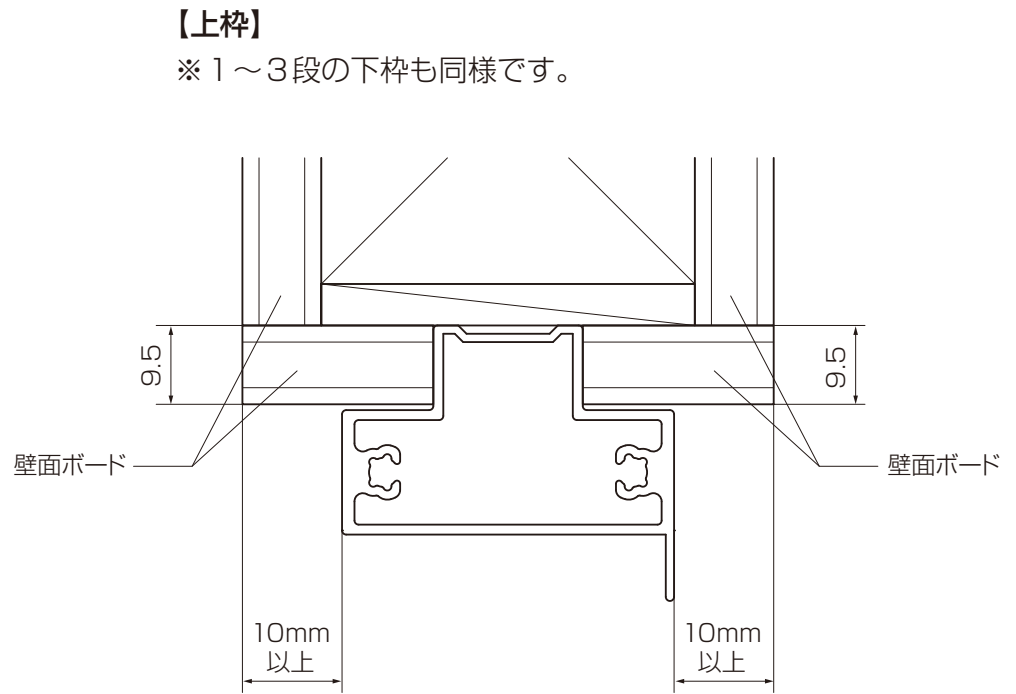
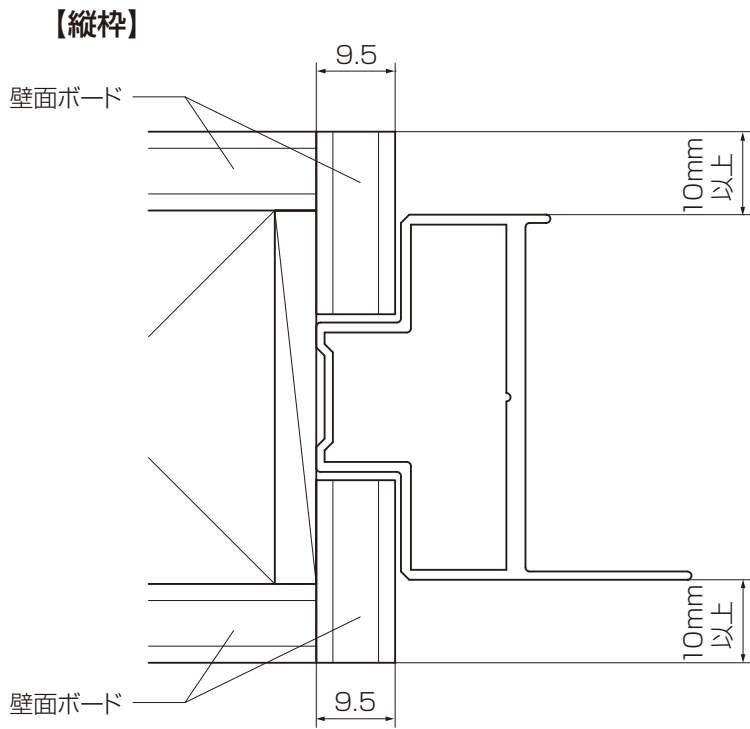
1 壁面ボードの施工

●壁面ボードを枠に向かって折り返して取付けます。

※9.5mmの壁面ボードを使用しない場合でも、折り返し部分は9.5mmの壁面ボードを使用してください。

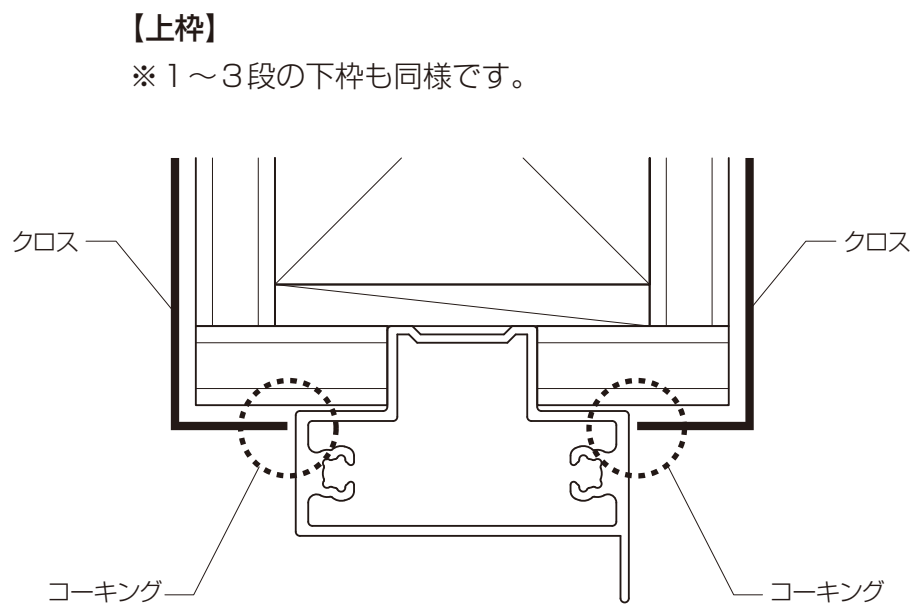
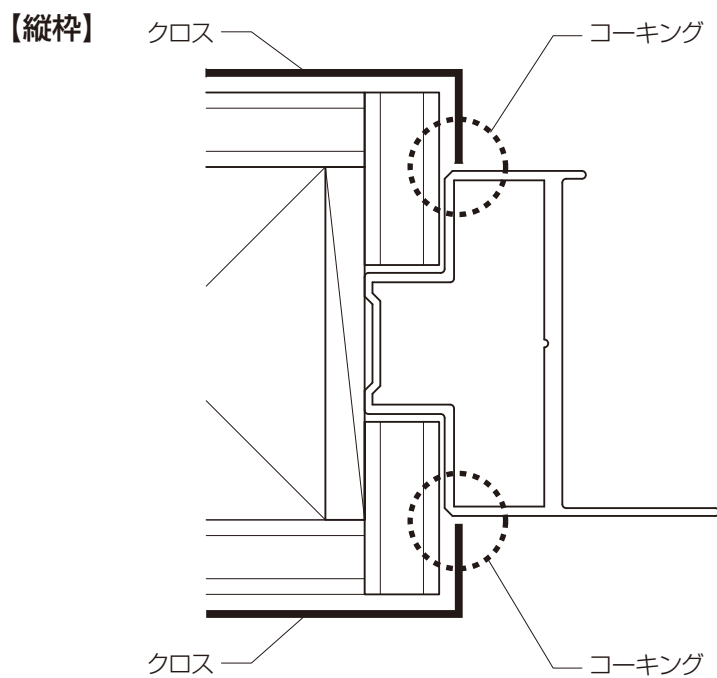
※クロス折り返しとなる部分は、10mm以上確保してください。

※必要に応じて、壁面ボードのコーナー処理・パテ処理を行ってください。



2 クロス貼り

●クロスと枠の間はコーキング等を使用して仕上げてください。



■FIX窓の取付け順序

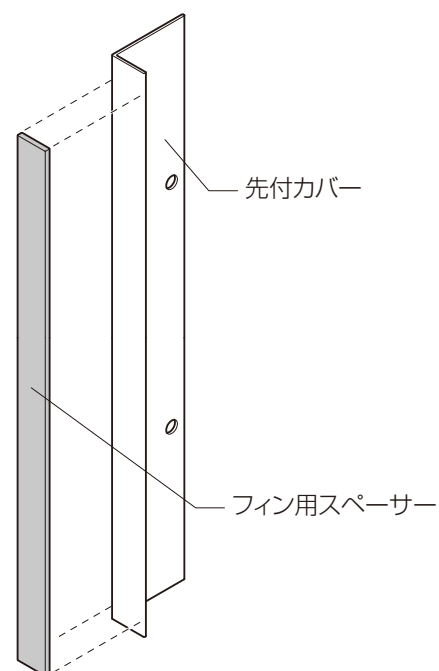
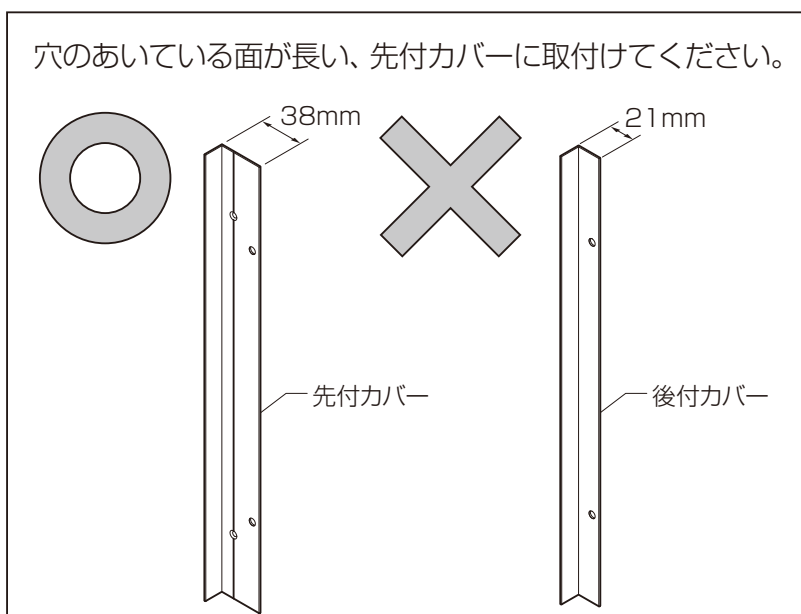
1 フィン用スペーサーの取付け

①現場でフィン用スペーサーの長さを合わせて切断します。

切断目安：先付カバーより20mm短い寸法

②リケイ紙をはがし、先付カバー端部より10mm離して取付けてください。

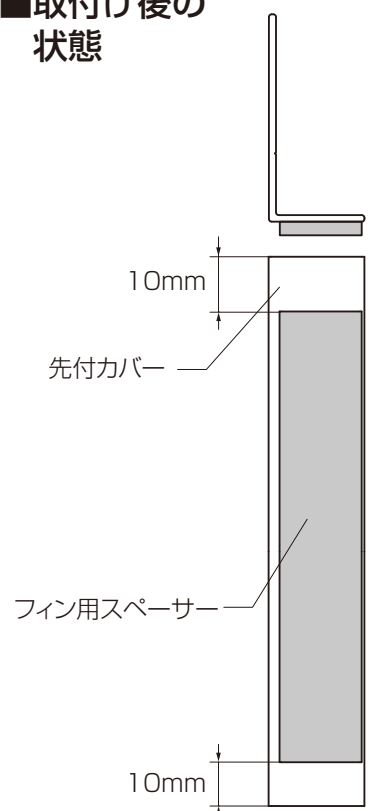
※先付カバーからはみ出さないように取付けてください。



お願い

※フィン用スペーサーは、貼付け面のホコリ・汚れ・油分などを取り除いてから貼付けてください。

■取付け後の状態

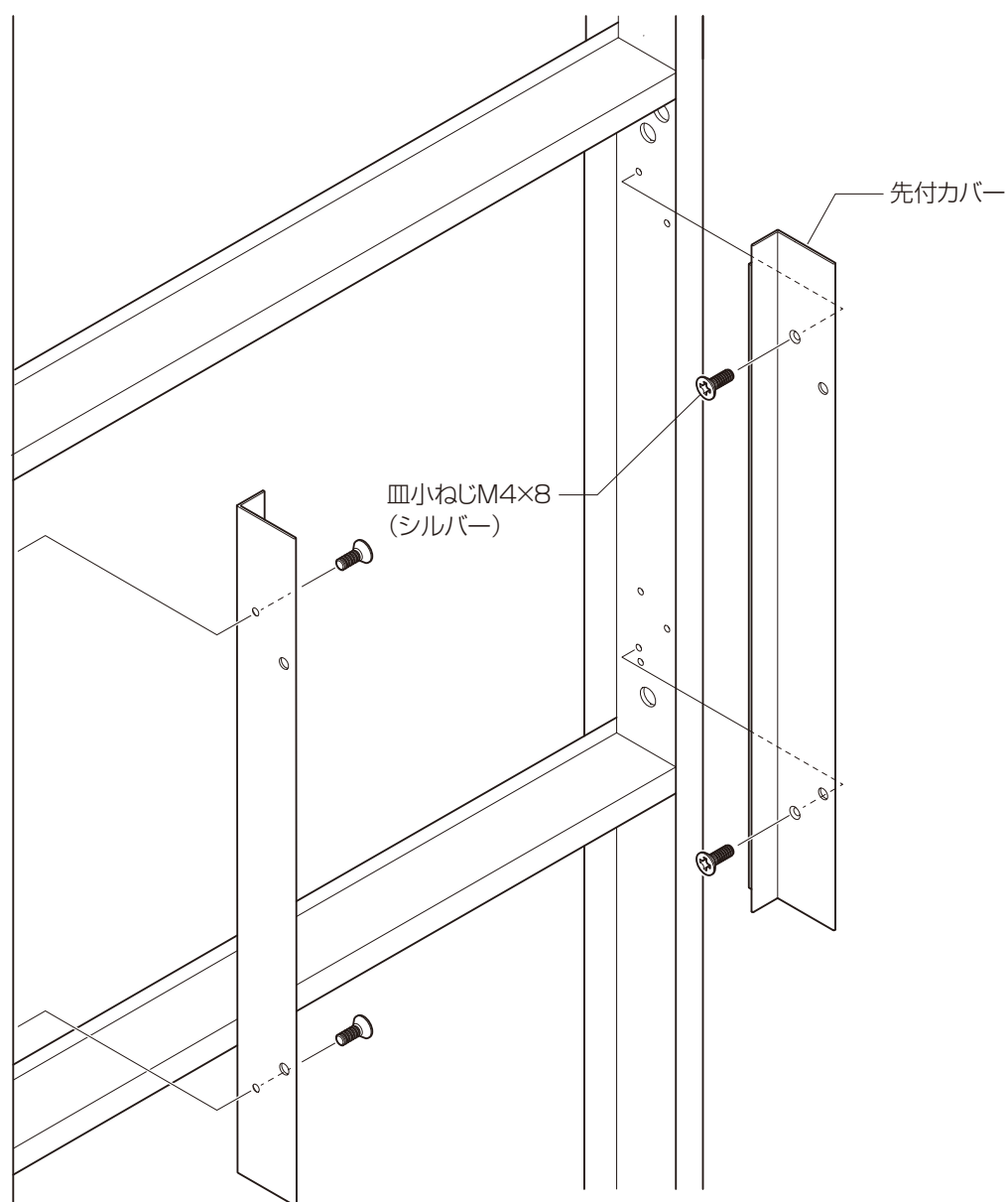


2 先付カバーの取付け

縦枠に、先付カバーを同梱の皿小ねじM4×8(シルバー)で取付けます。

※先付カバーは左右兼用です。

※縦枠のフィンと、先付カバーのフィンは同じ側になるよう取付けてください。

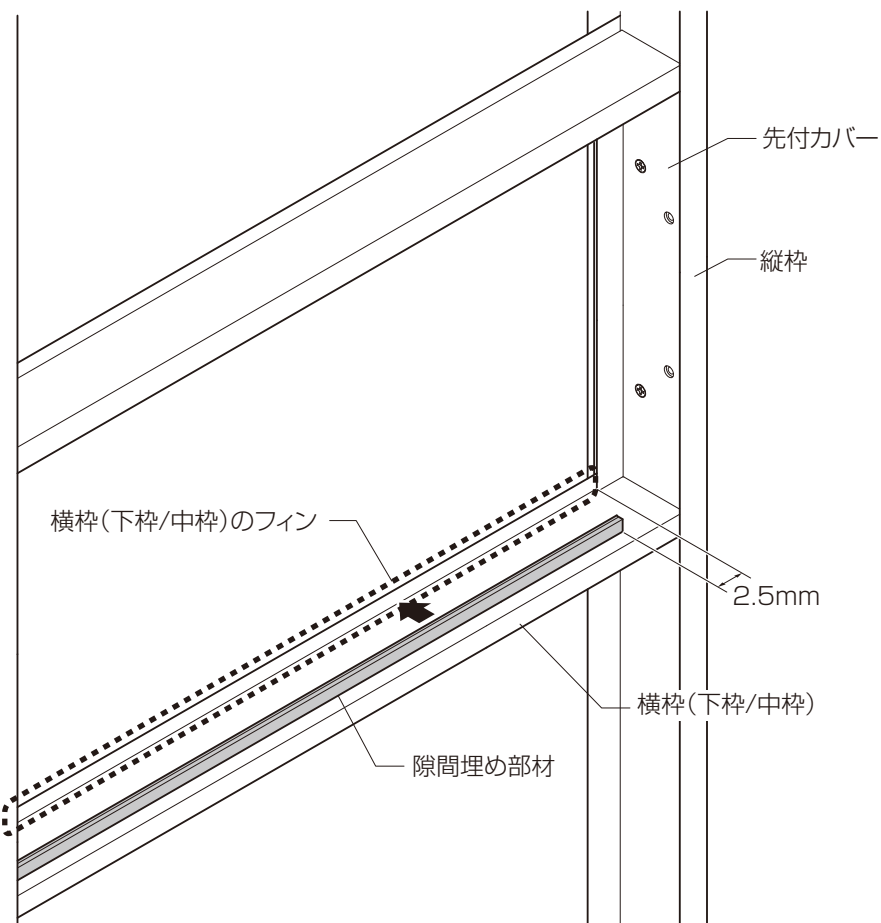
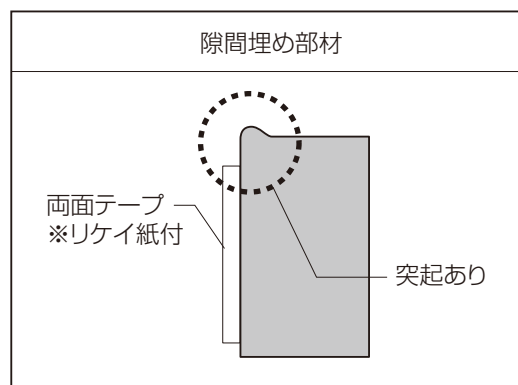


3 隙間埋め部材の取付け

①現場で隙間埋め部材の長さを合わせて切断します。

切断目安：先付カバーと2.5mmすき間が空く寸法

②リケイ紙をはがし、先付カバーと2.5mm離れた状態で、横枠(下枠/中枠)のフィンに取付けてください。

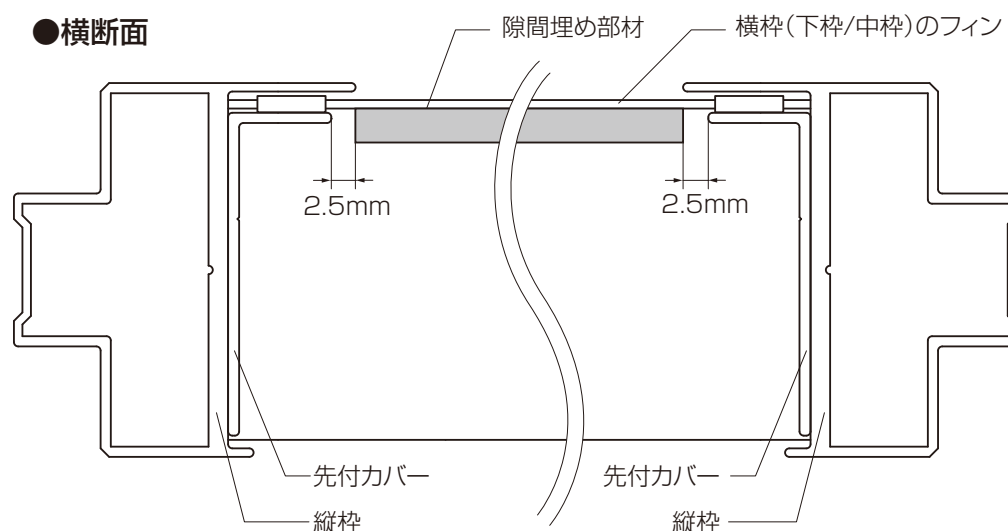


お願い

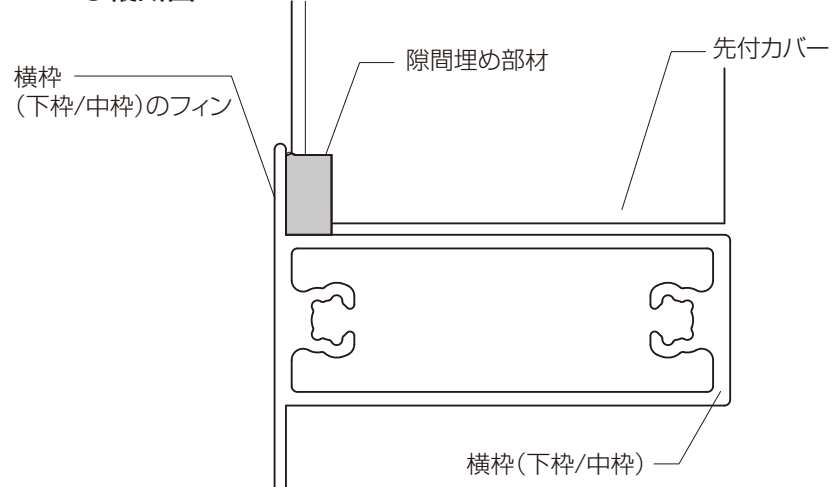
※隙間埋め部材は、貼付け面のホコリ・汚れ・油分などを取り除いてから貼付けてください。

■取付け後の状態

●横断面

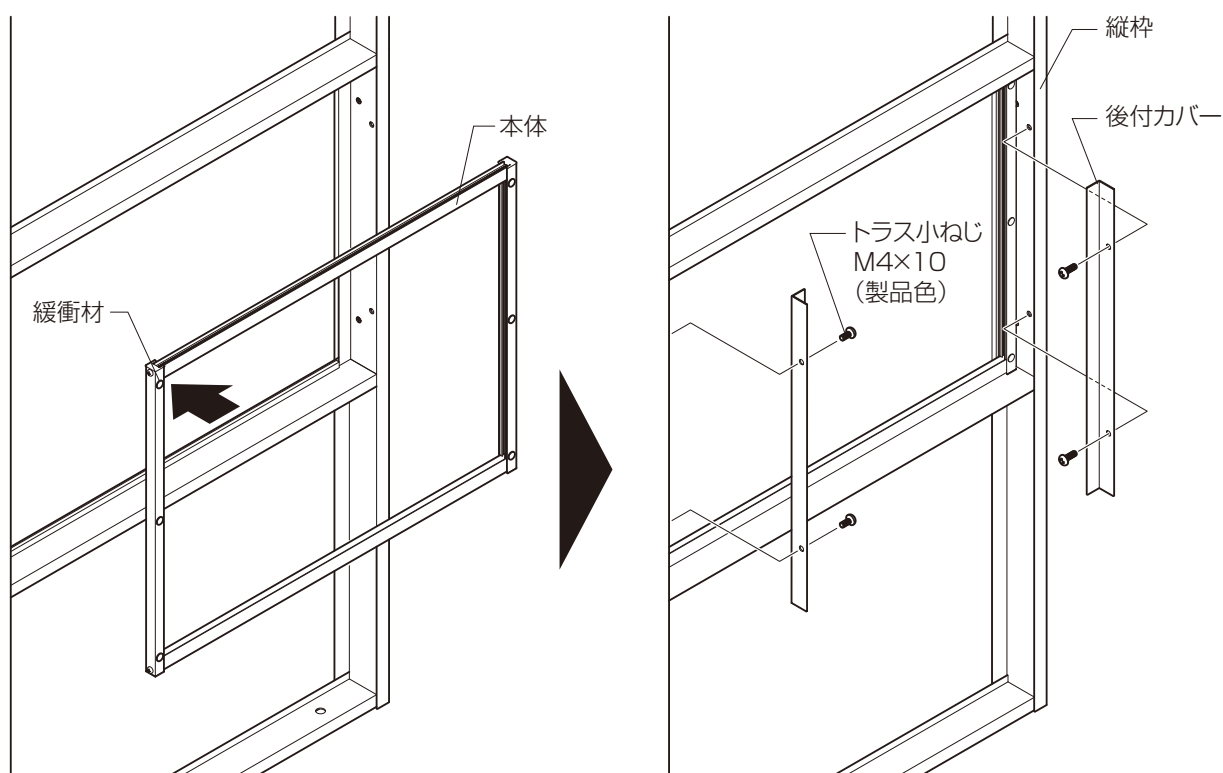


●縦断面



4 本体・後付カバーの取付け

- ①本体を先付カバーに押し当てるようにして開口へ挿入します。
※この時、本体の位置が開口のセンターになるよう左右位置を調整してください。
※本体縦框についている緩衝材をはがさないでください。ガタツキ・音鳴りの原因になります。
- ②後付カバーを本体へ押付けながら、同梱のトラス小ねじ M4×10 (製品色) で固定します。
※押付けが弱いと本体がガタつく可能性があります。

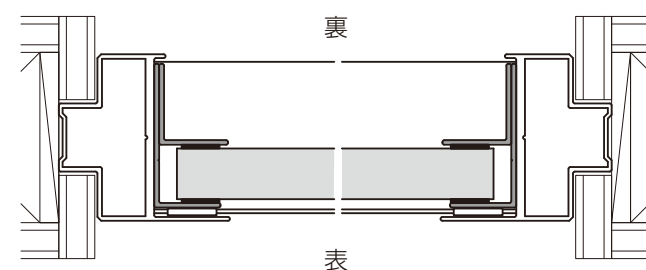


お願い

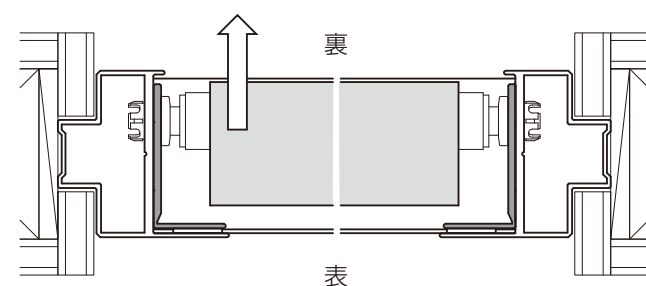
※FIX窓はガラス種類によって、表裏があります。表を参考に、ガラスの向きをそろえて取付けてください。

表裏があるガラス	表面	裏面
カスミ熱処理ガラス アンティーク熱処理ガラス モール熱処理ガラス	ツルツル	凸凹

【FIX窓】



【突出し窓】



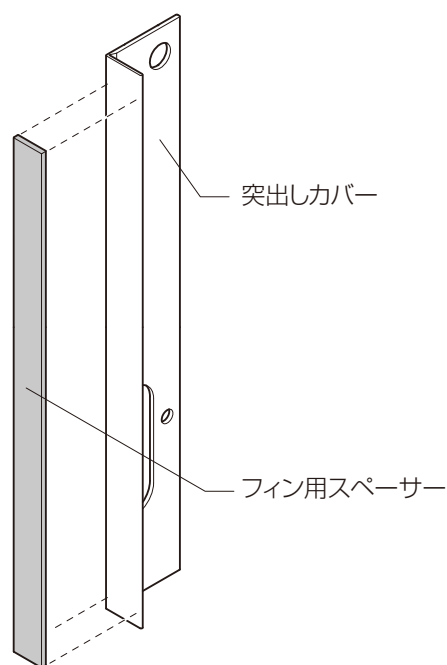
■突出し窓の取付け順序

1 フィン用スペーサーの取付け

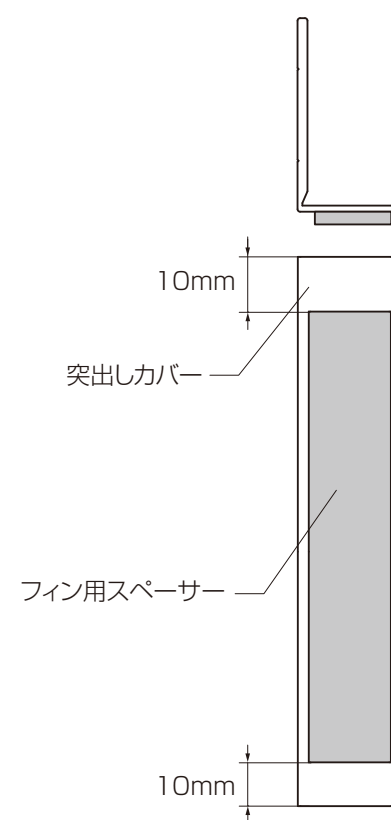
- ①現場でフィン用スペーサーの長さを合わせて切断します。
切断目安：突出しカバーより20mm短い寸法
- ②リケイ紙をはがし、突出しカバー端部より10mm離して取付けてください。
※突出しカバーからはみ出さないように取付けてください。

お願い

※フィン用スペーサーは、貼付け面のホコリ・汚れ・油分などを取り除いてから貼付けてください。



■取付け後の状態



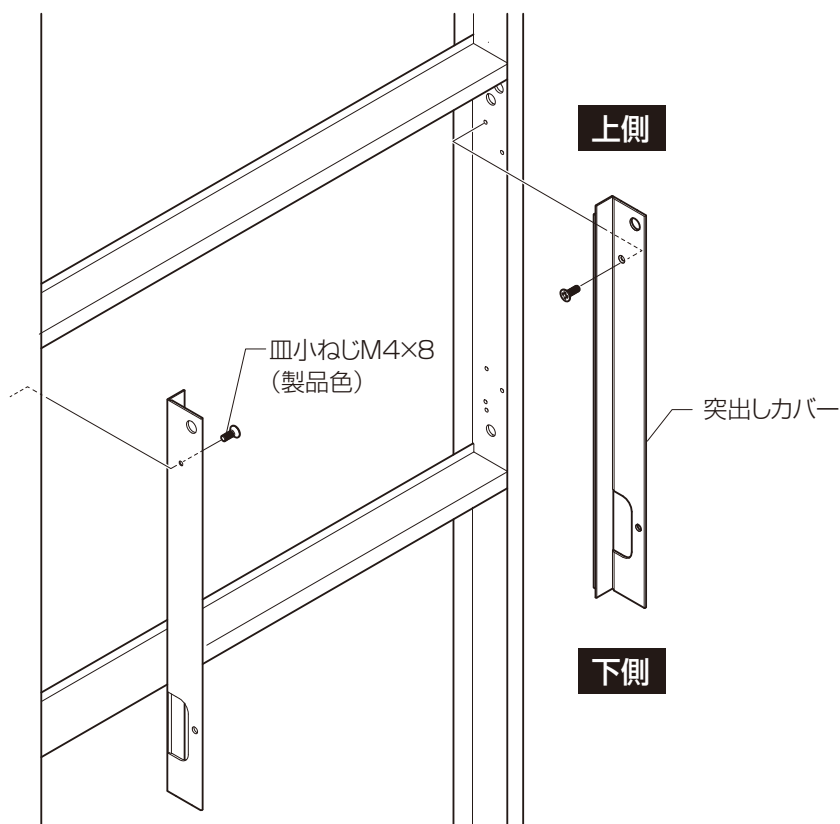
2 突出しカバーの取付け

縦枠に、突出しカバーを同梱の皿小ねじM4×8(製品色)で取付けます。

※突出しカバーには左右があります。

カバーと縦枠の穴が合うように固定してください(取付穴が上側に来るように取付けてください)。

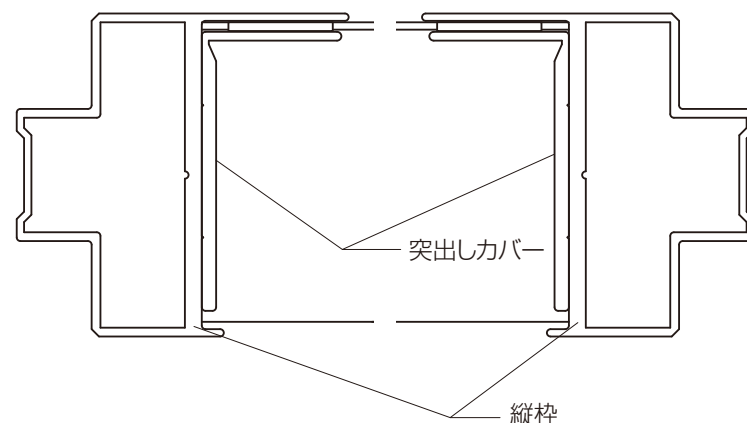
※縦枠のフィンと、突出しカバーのフィンと同じ側になるよう取付けてください。



■取付け後の状態

横断面

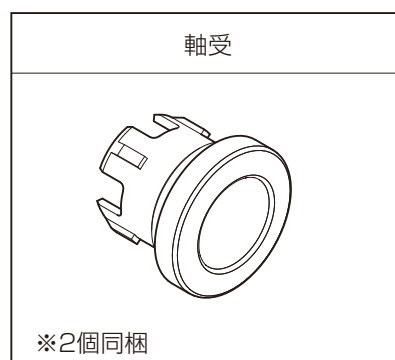
縦枠のフィンと、突出しカバーのフィンと同じ側になるよう取付けてください。



3 軸受の取付け

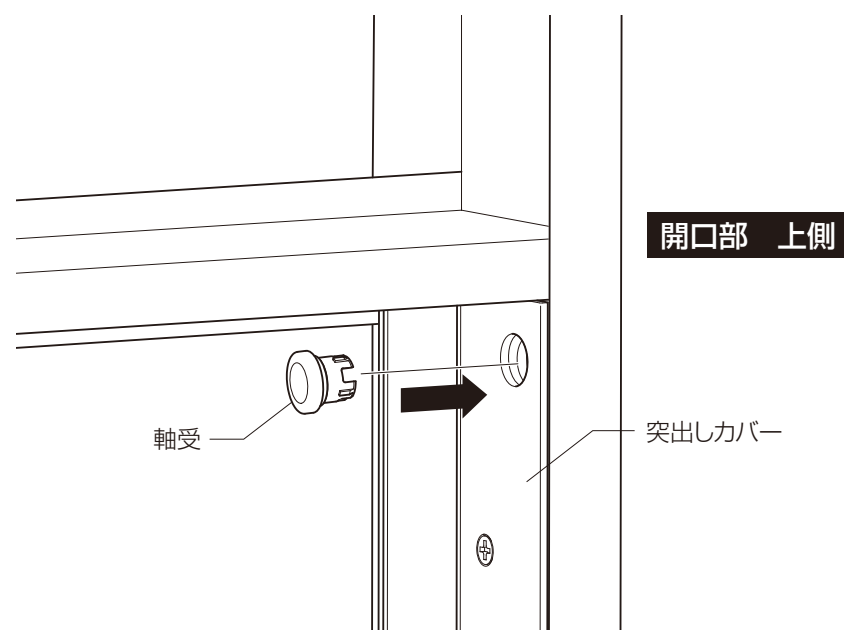
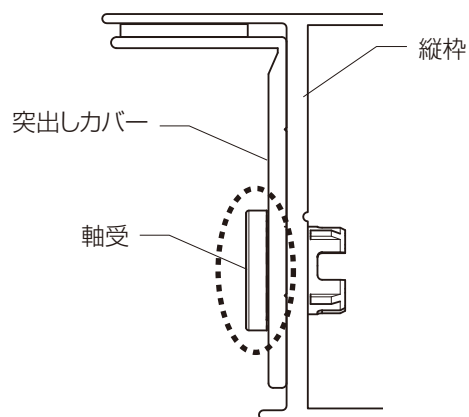
左右の突出しカバーに軸受を取付けます。

※パチッと音が鳴るまで軸受を挿入し取付けてください。



■取付け後の状態

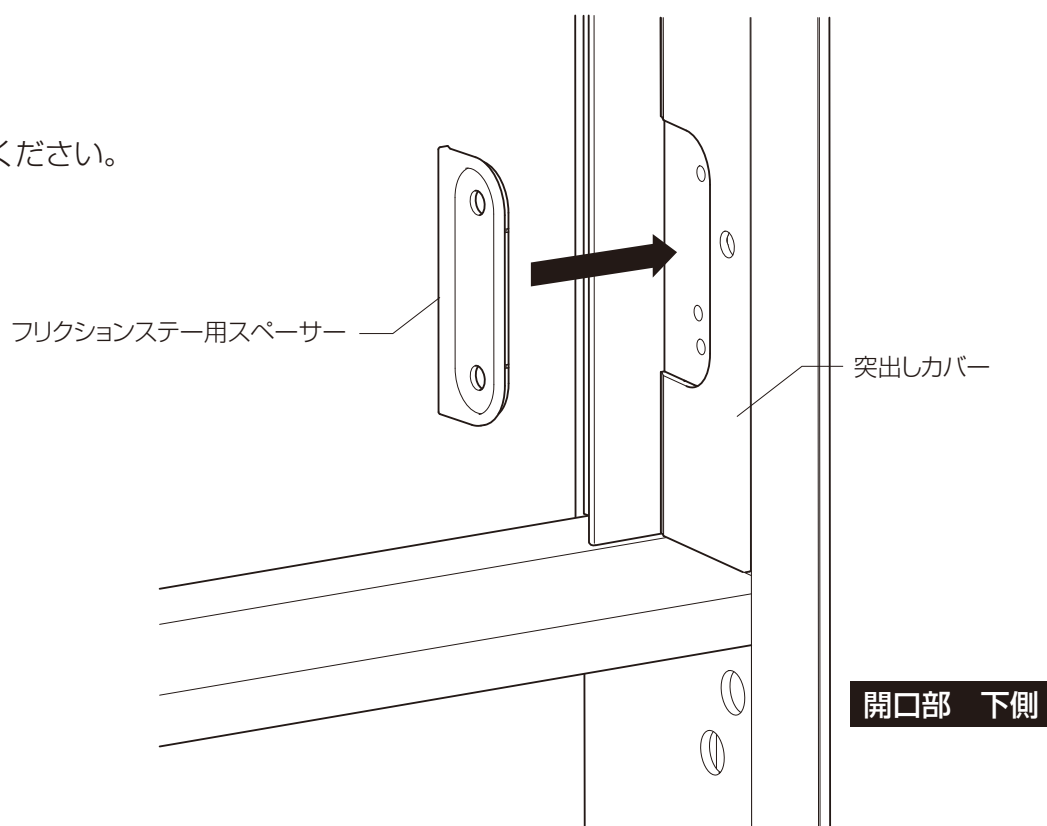
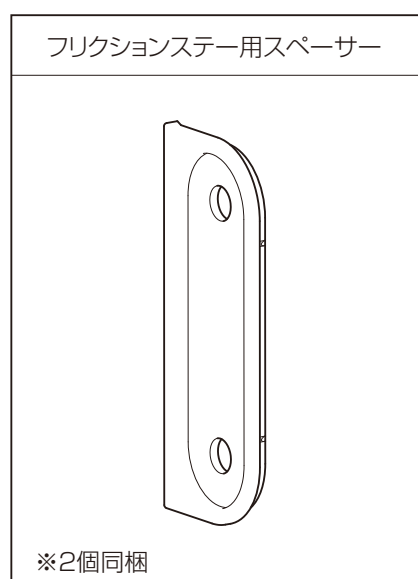
突出しカバーとすき間なく取付きます。



4 フリクションステー用スペーサーの仮固定

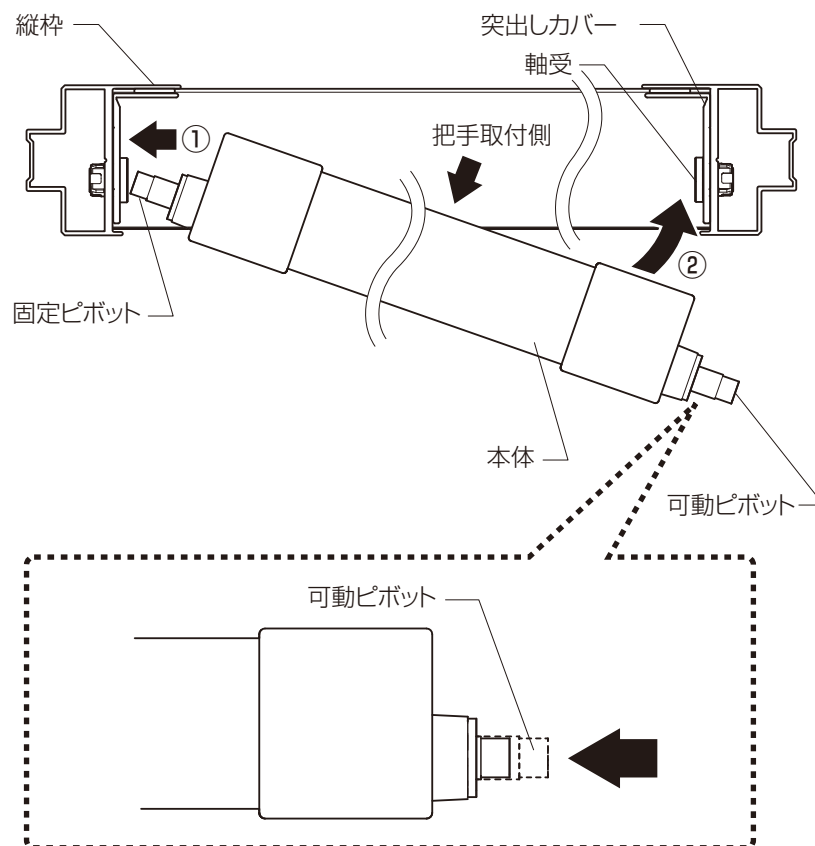
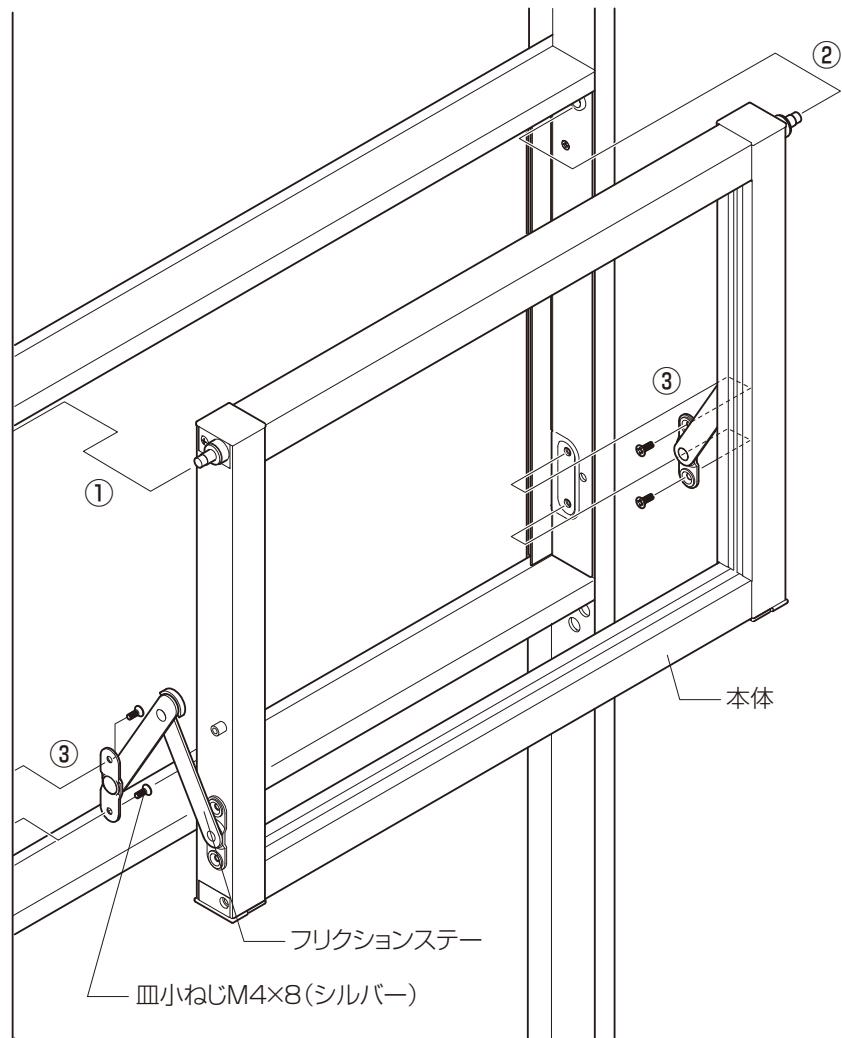
左右の突出しカバーにフリクションステー用スペーサーを挿入し、仮固定します。

※突出しカバーとスペーサーにすき間がないよう、向きに注意してください。



5 本体・フリクションステーの取付け

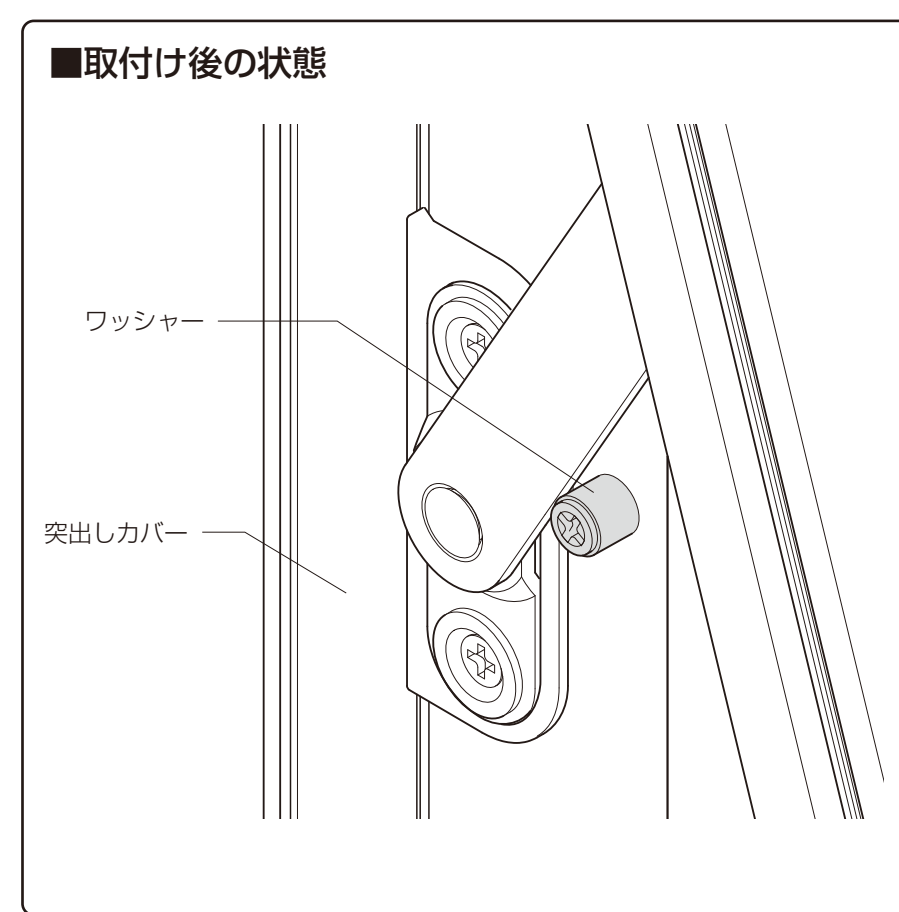
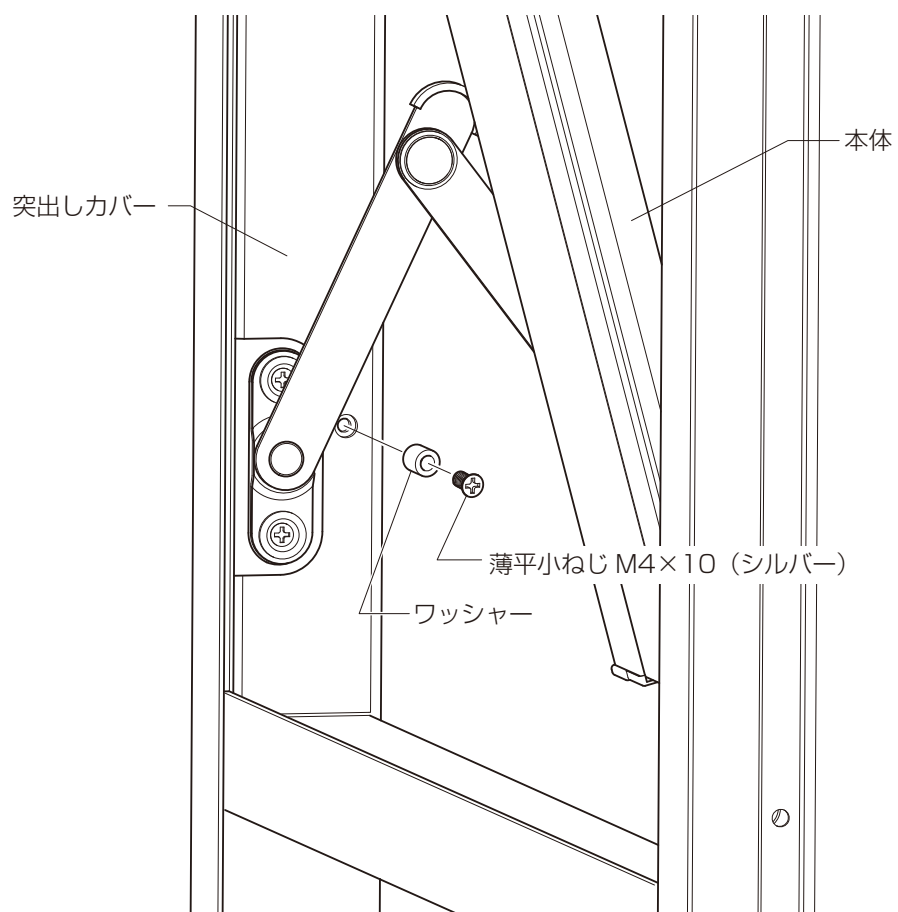
- ①固定ピボットを軸受に挿入します。
 - ②もう一方の可動ピボットを指でへこませたまま、反対側の軸受に挿入します。
- ※ピボットを挿入するときに、ピボット・フリクションステーで枠・カバーを傷つけないように注意してください。
- ③手回しドライバーを使用して、フリクションステーを同梱の皿小ねじ M4×8(シルバー)で固定します。



お願い
 ※フリクションステーに潤滑剤や洗剤を塗布しないでください。
 トルクがなくなり、任意位置での固定ができなくなります。

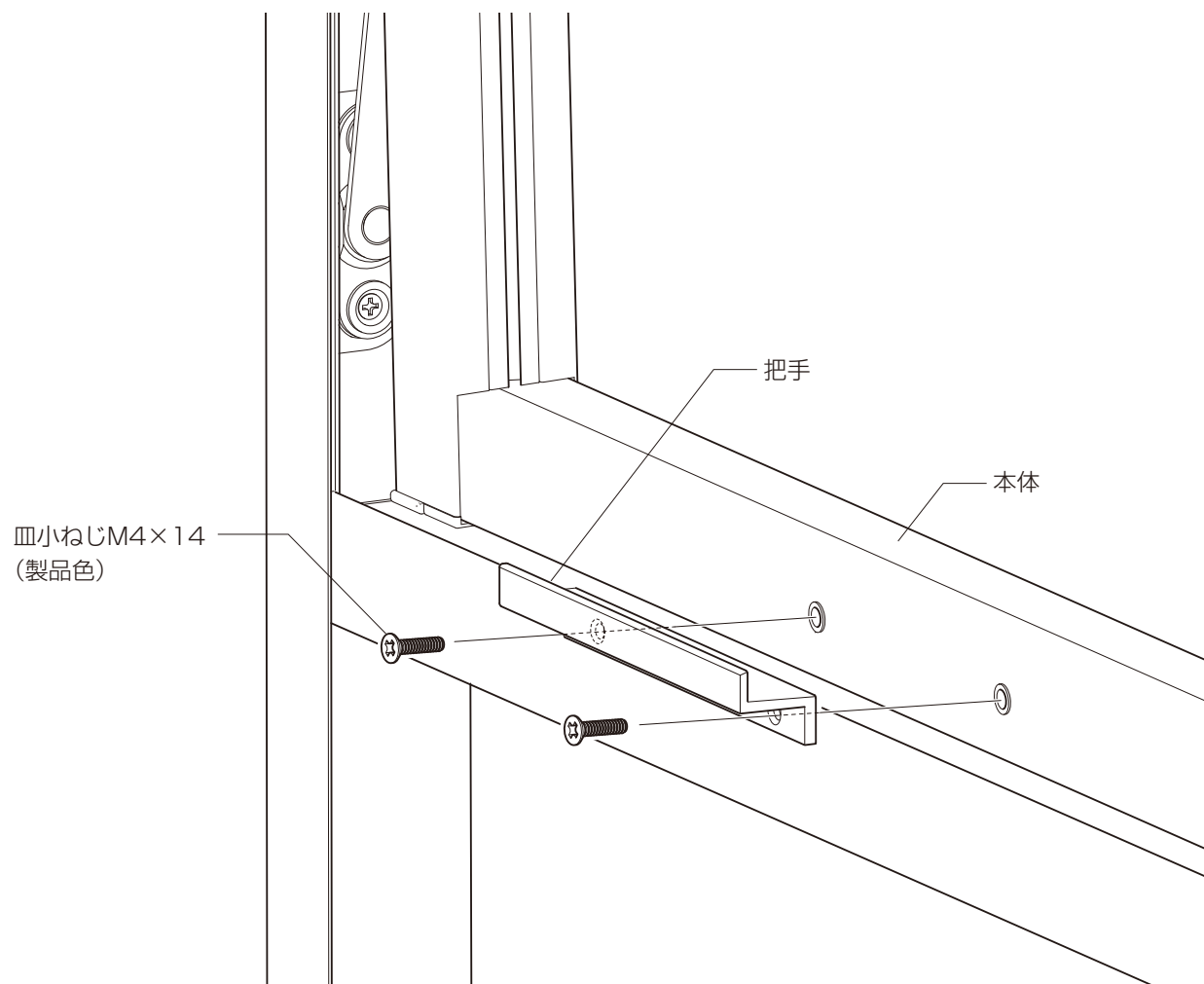
6 ワッシャーの取付け

突出しカバーに、ワッシャーを同梱の薄平小ねじ M4×10(シルバー)で取付けます。



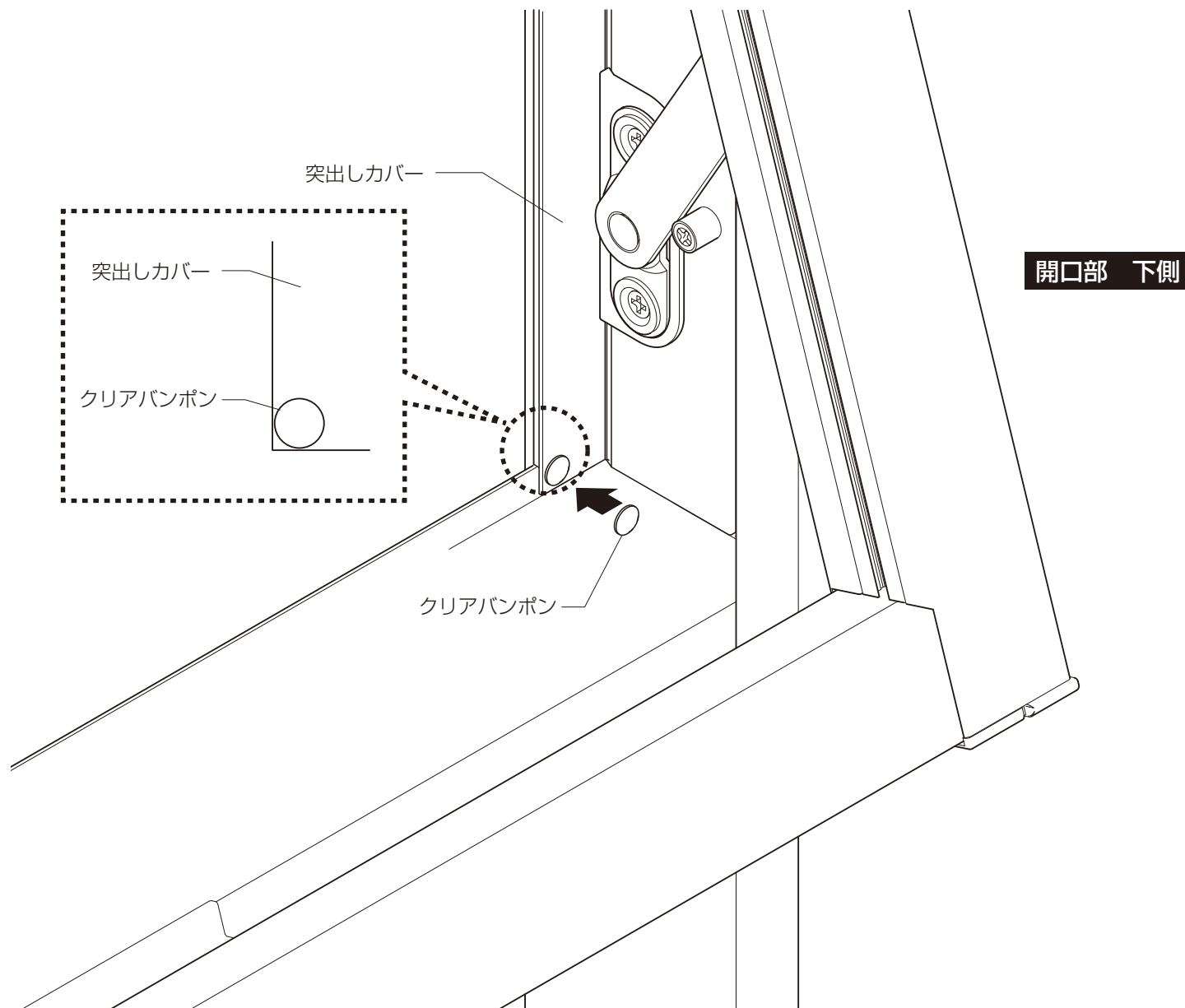
7 把手の取付け

手回しドライバーを使用して、把手セットに同梱の皿小ねじ M4×14(製品色)で把手を取付けます。



8 クリアバンポンの貼付け

クリアバンポンのリケイ紙をはがして、突出しカバーのフィンの端部に合わせて貼付けます。
貼付け後、扉を閉めたときに扉の下部がクリアバンポンに当たることを確認してください。



お願い

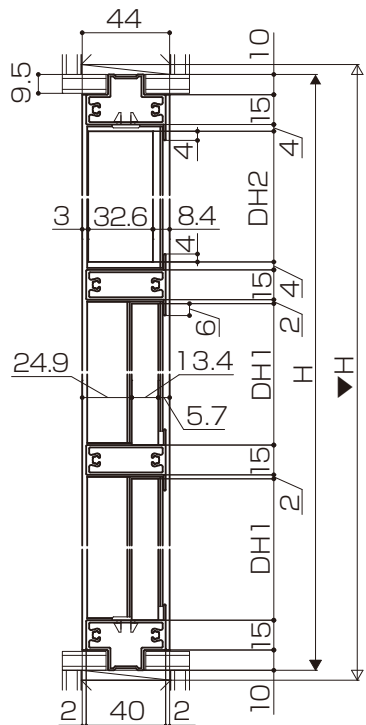
※クリアバンポンは、貼付け面のホコリ・汚れ・油分などを取り除いてから貼付けてください。

■納まり図

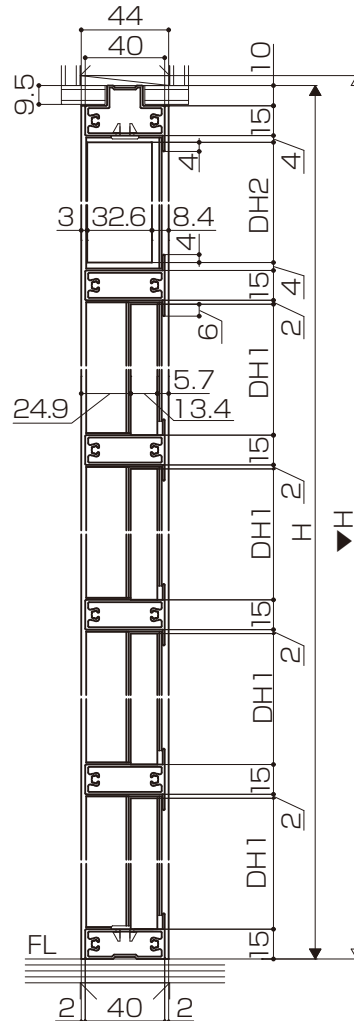
■デコマド

●縦断面図

3段 上から1段目突出し窓

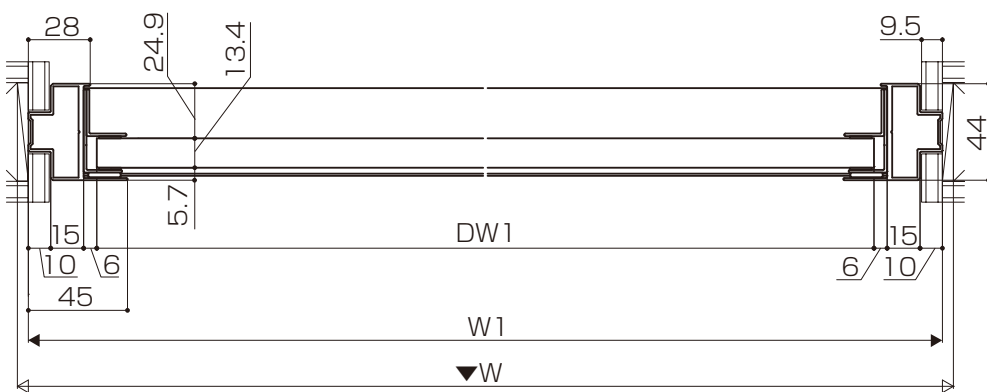


5段 上から1段目突出し窓

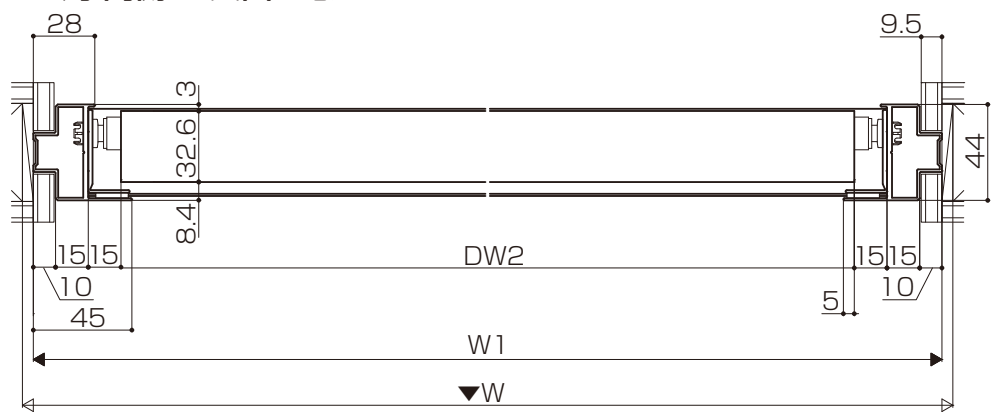


●横断面図

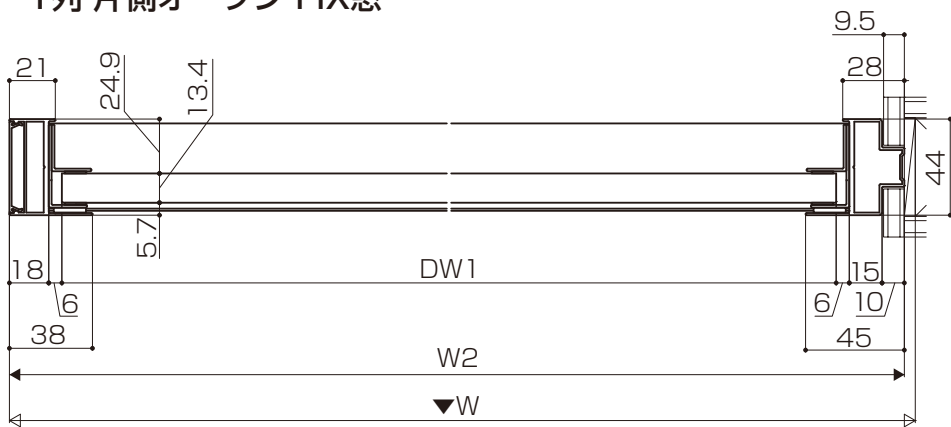
1列 両側壁 FIX窓



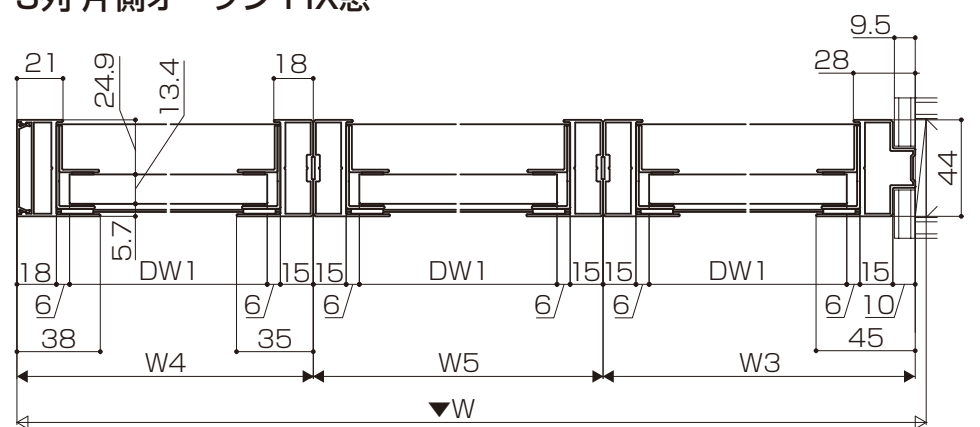
1列 両側壁 突出し窓



1列 片側オープン FIX窓



3列 片側オープン FIX窓



W呼称	両側壁	オープン - 壁	連結 - 壁	オープン - 連結	両側連結	FIX窓	突出し窓
	W1	W2	W3	W4	W5	DW1	DW2
W05 (1~3段)	576	569	566	559	556	514	496
W08 (4~5段)	780	773	770	763	760	718	700

H呼称	H	FIX窓	突出し窓
		DH1	DH2
H04 (1段)	430	378	372
H08 (2段)	825	378	372
H12 (3段)	1220	378	372
H24 (4段)	2405	578	572
H24 (5段)	2405	459	453